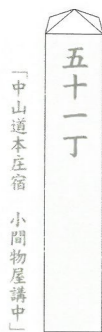


26 丁石 郡家町八反地附近にあったもの



「中山道本庄宿 小間物屋講中」

27 丁石 三条町筆池附近にあったもの



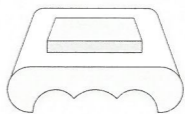
「五十六丁 加江戸 大和屋」

28 標石

### 延喜式内 飯神社 讃岐園魂

「横田 兵太 横田 市郎 山根 氏子  
○井 廣太 横田 愛雄 世話人 金丸 武吉  
横田 春太 富家 利七 富家 利七」  
「明治廿七年二月建」

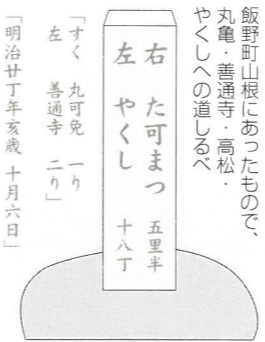
29 礎石 郡家村公民館の礎石



30 標石 陸軍省用地を示した標石

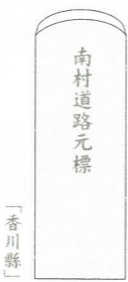


31 道標



「飯野町山根にあったもので、丸亀・善通寺・高松・やくしへの道しるべ」  
「明治廿丁年亥戌 十月六日」

32 道路元標



「香川縣」

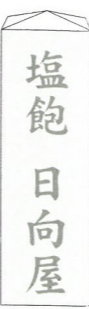
33 道路元標



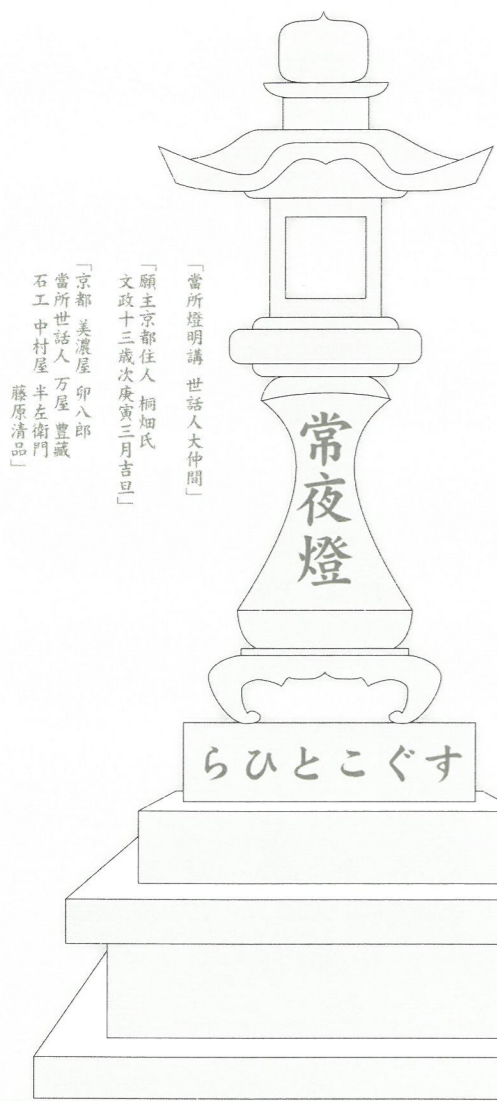
34 道路元標



35 標石



36 石灯籠 福島東海岸にあった金毘羅灯籠



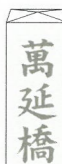
「當所證明講 世話人大仲間」

「願主 京都住人 桐畑氏 文政十三歳次庚寅三月吉日」

「京都 美濃屋 卯八郎 當所世話人 万屋 豊藏 石工 中村屋 半左衛門 藤原清品」

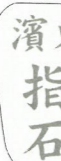
16 橋の欄干の親柱

「柞原正面寺の南部 県道上にあった橋」



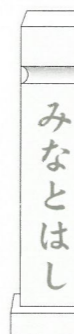
17 力石

「力だめにし 抱えあげたりしていた石 東濱は今の西平山町」



18 橋の欄干の親柱

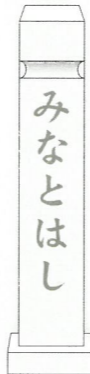
「金倉の上水道水源池前県道の 金倉川に架けられていた水門橋の元の欄干の親柱」



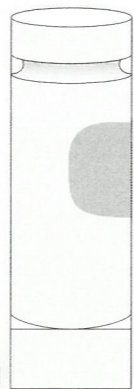
19



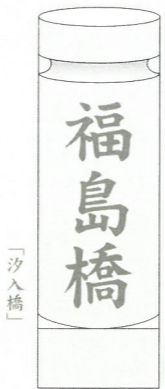
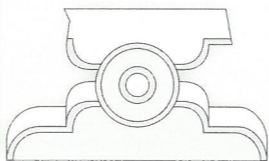
20



21 橋の欄干の親柱



「浜町路切の北にあった 福島橋の親柱 埋め立てにより不用になり 東汐入橋に転用していたもの」



「汐入橋」

22 丁石



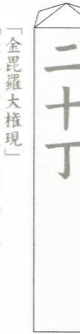
「金毘羅参詣の道しるべとして一町ごとに たてられた標石」

23 丁石



「武州児玉郡本庄 森田〇左」

24 丁石

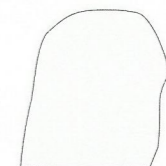


「全肥後大権現」 願主 北邊田村 須賀村 講中

「」内は石の銘文

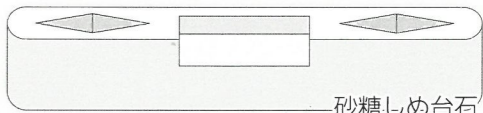
8 境界石

「土地の境界を示したもの 垂水町出土」



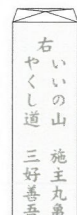
9 金毘羅灯籠の基礎石

「新堀温泉に 三基あった内の一つ」



砂糖しめ台石

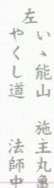
1 道標



2 玉垣



3 道標



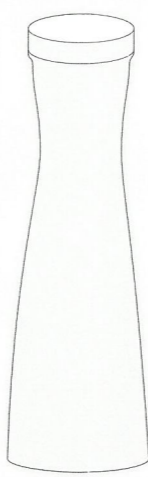
4 金倉橋の親柱



「大正十四年四月竣工」

10 もやい石

「船をつなぐための石 丸亀港の岸壁にあつたもの」



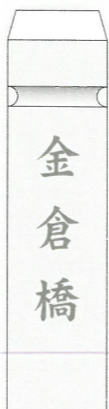
11 標石



12 標石



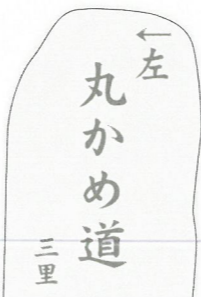
5 道標



13 標石

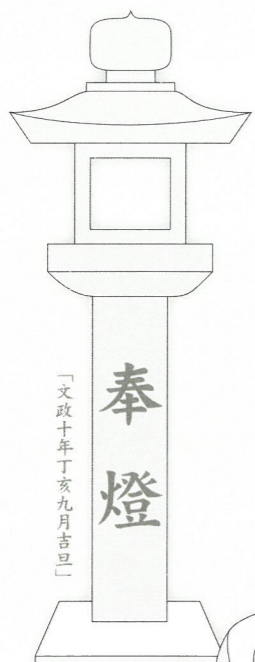


「昭和八年兵満期者一同」



「右 高松道八里 左 琴平道七里」 大正十年六月中旬

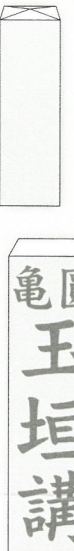
14 石灯籠



「文政十年丁亥九月吉日」

7 標石

「山北八幡神社鎮座の地で あつた所を示すもの 旧NTT丸亀支店敷地の 中央南寄り辺りから出土」



6 玉垣

「福島町にあつたもので金毘羅参詣の 道しるべとして建てられていたもの」



25 道標

「中府町の民家にあつた道標」



「梵字 為父母六親」 願主 施主 大坂さつま本り 妙香

「烈女尼崎里也宅跡」 昭和三十一年五月 建之 山口滝治 風袋町自治会 実川利吉

